

令和 2 年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和 3 年 7 月

地域づくり推進部

中山間・地域交通局中山間地域政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	1 1 頁
7	事業別実施状況調べ	1 3 頁
8	予備費の充用調べ	1 4 頁
9	繰越関係調べ	1 5 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
1 0	収入証紙取扱調べ	1 5 頁
1 1	現金の取扱状況	1 5 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
1 2	財産に関する調べ	1 5 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
1 3	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 6 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
1 4	借受不動産明細調べ	1 6 頁
1 5	職員駐車場の管理状況調べ	1 6 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
1 6	寄附物件の受納状況調べ	1 6 頁
1 7	備品の処分状況調べ	1 6 頁
1 8	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	1 6 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
1 9	貸付金等状況調べ	1 6 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	1 6 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 … 該当なし
- (2) 監査意見 … 該当なし
- (3) 決算審査意見 … 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>空き家対策の推進について（口頭指摘）</p> <p>総務省の住宅・土地統計調査によると、平成30年度における県内の空き家数(39,900戸)及び空き家率(15.5%)はいずれも過去最高となっており増加傾向にある。</p> <p>空き家問題は一義的に市町村が主体となって対処すべき課題であるが、県としても実態調査や老朽危険空き家等の除却支援など、その取組を側面的にサポートしているところである。</p> <p>一方、空き家利活用については、所有者が利活用そのものに消極的である場合や、適切に管理しないため老朽化を進行させてしまう場合などが少なくなく、その機運は未だ県内に広がっていないと考える。</p> <p>については、とっとり空き家利活用推進協議会や市町村等との連携を深め、地域において空き家利活用に対する理解促進に取り組む団体・人材の育成を強化すべきである。</p>	<p>令和元年度に創設した「地域の空き家を活用したまちづくり推進事業補助金」により、地域で空き家利活用を進める団体の取組を市町村と連携し支援し、とっとり空き家利活用推進協議会を開催して、不動産の専門家・市町村と連携し、空き家利活用を推進する取組を引き続き着実に進めていく。</p> <p>また、空き家利活用で先進的な取組を行っている事例を他地域に紹介するとともに、空き家の利活用に係るアイデアコンペの開催等を支援し、空き家所有者等に向けた啓発や空き家利活用に係る地域の理解促進を図り、空き家利活用に取り組む団体・人材の育成を進めていく。</p>

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	3.4.1 現 在	2.4.1 現 在	
定 員	7	7	2	2	0	0	9	9	中山間・地域交通局長を含む
現 員	(0) 8	(1) 8	(0) 1	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(0) 9	(1) 10	R2は育休1名
過不足(△)	1	0	△1	0	0	0	0	0	
臨 時 的 任 用 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会 計 年 度 任 用 職 員	1	1	0	0	0	0	1	1	事務

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
中山間・地域交通局長	太田 裕司	2 0	
課長	齋藤 正樹	2 0	
課長補佐	溝内 博	3 3	
課長補佐	中尾 淳一	0 3	
課長補佐	尾崎 恵輝	0 3	(通算2年0月)

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業	16,743	7,098			9,645
将来ビジョン	2つなげる力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成				
令和新時代創生戦略	II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (3) 支え愛ー①絆を活かした中山間地域・まちなか振興 III 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくりー①暮らしやすく元気になるまちづくり				
政策項目					
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
中山間地域の地域資源や遊休資産などを活用したコミュニティビジネスや地域活性化の取り組み、地域への若者の定着支援などを通じて、中山間地域の活性化を図る。					
(イ) 事業の実施状況					
①みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業					
事業名	助成内容	補助金額			
地域活性化支援事業	地域交流イベント実施、地域交流拠点改修等への助成(ソフト1/2、ハード1/3) 【事業実績(1件)】 (大山町：666千円) ・地域自主組織の拠点施設のトイレ改修	666千円			
中山間地域コミュニティビジネス支援事業	地域資源を活用した施設等への助成(ソフト1/2、ハード1/3) 【事業実績(1件)】 (鳥取市：1,462千円) ・旧温泉街空き店舗をシェアハウス兼ゲストハウスとして改修	1,462千円			
地域遊休施設活用支援事業	遊休施設を活用しソフト・ハードの両面から地域活性化を図る取組への助成(1/2) 【事業実績(2件)】 (鳥取市(1件)：2,734千円) ・旧生活改善センターを活用した果樹の里山体験・商品開発等の拠点施設整備 ・商品開発や情報発信、商品販売・交流事業等の開催 (八頭町(1件)：10,000千円) ・旧保育所を活用した地域支え合いの活動拠点整備	12,734千円			
安全・安心活動支援事業	災害・鳥獣害の被害を防ぐ事前の取組への助成(1/3) 【事業実績なし】	0千円			
合計		14,862千円			
②若者定住等による集落活性化総合対策事業					
	助成内容	補助金額			
	小規模高齢化集落等(※)が一体となって取り組む、移住者の受入れや地域活性化の取組を最大3年間支援(市町負担額の2/3、移住者生活支援、住宅取得等支援、地域活性化活動支援等) ※小規模高齢化集落等 高齢化率が50%以上かつ世帯数が20戸未満の集落(小規模高齢化集落)、高齢化率が40%以上かつ世帯数が30戸未満の集落(小規模高齢化集落に準じる集落)をいう。ただし、高齢化率が40%未満であっても、世帯数が極端に少ない等で将来的に集落の維持が危ぶまれると市町が認める集落を含む。	0千円			

【事業実績なし】

③中山間地域づくりサポート事業

事業名	助成内容	補助金額
高校と連携した中山間地域の活性化事業	高校と地域が連携し行う地域活性化の取組を支援（定額） 【事業実績（2件）】 （日野高校魅力向上推進協議会日野郡ふるさと教育推進協議会協働プロジェクトチーム：490千円） ・日野高校生が主体となって行った地元特産品を使った商品の開発・販売、地元の方を招いたハロウィンパーティーなどの取組の成果をまとめ、地域の方に向けて発表するシンポジウムを開催。 （いわみネーション実行委員会：836千円） ・岩美高校生と実行委員会が海岸漂着ごみを使ったモニュメントを制作。周辺施設とモニュメント及び環境啓発の展示パネルを電球でイルミネーション装飾し、地域の方向けに展示した。	1,326千円
合 計		1,326千円

④地域おこし協力隊サポート事業

地域おこし協力隊相談窓口設置、協力隊員及び市町村向け研修会の開催（556千円）

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
特になし

ウ 成果及び効果

- ・①については、浜村駅前通りの空き店舗を改修し、県内外からの来訪者や移住検討者が気軽に居住、宿泊できるゲストハウスを整備し、地域との交流や地域の豊かさを感じられるプログラムを提供したり、遊休施設を活用した果樹の里山体験・商品開発等の拠点施設の整備、地域の支え合い拠点の整備などにより、地域に活力や安心して暮らせる地域づくりが進んでいる。
- ・②については、令和2年度の申請はなかったものの、これまでに14の小規模高齢化集落等において取り組み、19世帯41人が移住し、そのうち16世帯32名の移住者が定着している。受入集落の住民等からは「集落の総事や役員など引き受けてもらえて助かる」「子どもの声が聞こえて集落内に活気が戻った」といった声が聞かれている。
- ・③については、学生団体等による地域内での交流活動を通じた提言や高校と地域の連携による地域活性化の取組により、中山間地域に新たな賑わいを創出している。
- ・④については、県内市町に配置された地域おこし協力隊の活躍促進及び地域定着に向け、研修会の開催や県独自の相談窓口の設置等を行い、協力隊の任期後に6割を超える地域定着に繋がっている。

エ 課 題

- ・高齢化、人口減少が進む中山間地域において、安心して暮らせる地域づくりを進めるため、引き続き市町と連携しながら新たな取組の掘り起しや取組の拡大などを図っていく必要がある。
- ・中山間地域の活性化を進めるためには、地域住民の主体的な取組となるような機運醸成が必要であり、集落創造シートや支え愛マップ等のツールを活用しながら、集落の話合いの促進を図る。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳												
		国庫支出金	起債	その他	一般財源									
新たな中山間地域共創事業	6,278	2,199			4,079									
将来ビジョン	2つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成													
令和新時代創生戦略	-													
政策項目	-													
(概要)														
ア 目的及び事業の実施状況														
(ア) 目的														
中山間地域において高齢化と人口減少が進行し続けている状況を踏まえ、地域の抱える課題に対応し、住み慣れた中山間地域での安全・安心な暮らしを多様な主体と連携して創り出していく。														
(イ) 事業の実施状況														
①中山間地域集落再生システム構築事業 (1,881千円)														
取組モデル集落5地区を設定し、令和元年度に集落維持に向けた課題の抽出・整理を行い、令和2年度は課題の解決に必要な対策の検討及び試行的な取組を支援した。														
○集落課題対応モデル支援事業														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成内容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集落課題対応モデル支援事業</td> <td>モデル集落において、調査・抽出した暮らし続けていくために必要となる課題等について、集落主体で行う解決に向けた検討及び試行的な取組を支援(定額) 【事業実績(4件)】 琴浦町1件 41千円、日野町1件 500千円、 日南町1件 498千円、江府町1件 500千円</td> <td>1,539千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>1,539千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	助成内容	補助金額	集落課題対応モデル支援事業	モデル集落において、調査・抽出した暮らし続けていくために必要となる課題等について、集落主体で行う解決に向けた検討及び試行的な取組を支援(定額) 【事業実績(4件)】 琴浦町1件 41千円、日野町1件 500千円、 日南町1件 498千円、江府町1件 500千円	1,539千円	合 計		1,539千円
事業名	助成内容	補助金額												
集落課題対応モデル支援事業	モデル集落において、調査・抽出した暮らし続けていくために必要となる課題等について、集落主体で行う解決に向けた検討及び試行的な取組を支援(定額) 【事業実績(4件)】 琴浦町1件 41千円、日野町1件 500千円、 日南町1件 498千円、江府町1件 500千円	1,539千円												
合 計		1,539千円												
○モデル集落の取組検討・実証調査委託														
モデル集落における試行的な取組への伴走支援及び各集落の取組調査、施策への提言等を鳥取環境大学へ委託。														
②住民主体による共助交通の取組モデル事業 (4,398千円)														
○地域住民の共助体制の構築及び取組拡大														
住民共助で行う移動手段確保のモデル的な取組への伴走支援・情報提供等を外部アドバイザーへ委託。住民共助の実施体制を構築するとともに、他地域への取組の横展開を行った。														
○市町と連携した無償による共助交通の取組支援														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>助成内容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県版小さな拠点づくり支援事業【複数拠点での無償運送モデル支援】</td> <td>複数の小さな拠点地域内を無償運行する仕組みを構築するモデル事業に必要な車両導入経費を支援 【事業実績(1件)】 八頭町1件 1,399千円</td> <td>1,399千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>1,399千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	助成内容	補助金額	県版小さな拠点づくり支援事業【複数拠点での無償運送モデル支援】	複数の小さな拠点地域内を無償運行する仕組みを構築するモデル事業に必要な車両導入経費を支援 【事業実績(1件)】 八頭町1件 1,399千円	1,399千円	合 計		1,399千円
事業名	助成内容	補助金額												
県版小さな拠点づくり支援事業【複数拠点での無償運送モデル支援】	複数の小さな拠点地域内を無償運行する仕組みを構築するモデル事業に必要な車両導入経費を支援 【事業実績(1件)】 八頭町1件 1,399千円	1,399千円												
合 計		1,399千円												
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし														
ウ 成果及び効果														
<ul style="list-style-type: none"> ・①については、取組モデル集落における話合いや試行的な取組の実施により、集落で住み続けていくために必要な課題の解決に向けた住民の合意形成や解決に向けた取組が進んでいる。 ・②については、住民主体による移動支援を契機とした住民共助の取組が県内で広がり、地域づくりの担い手育成に繋がっている。 														
エ 課 題														

地理的要因や担い手の不足などにより生活機能維持の取組が困難な集落等において、少人数でも住み続けるために必要な生活環境や仕組みを確保するために、集落等の主体性を尊重しながら、集落等や市町、関係機関と連携しながら取組を支援・継続していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
農山漁村滞在促進事業	4,774	3,376			1,398
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
鳥取ならではの地域資源を堪能できる「農泊」を推進することにより、農山漁村における所得の向上や雇用の増大を図るとともに、国内外からの観光客との交流による農山漁村地域資源の魅力再発見、受入地域の活性化、関係人口の増加や移住者の呼び込みを図る。					
(イ) 事業の実施状況					
①農泊推進シンポジウムの開催 (1,997千円)					
県内の農泊の取組をさらに推進するため、市町村、観光協会、農泊に取り組む団体、農泊に取り組もうとする団体、旅行会社などを対象にオンライン形式でのシンポジウムを開催。開催業務は日本ファームステイ協会へ委託。					
②魅力ある滞在エリア創造支援事業					
事業名	助成内容	補助金額			
魅力ある滞在エリア創造支援事業	地域の協議会が行う、農泊を地域のビジネスとして行うための活動経費を支援 (2/3) 【事業実績なし】	0千円			
魅力ある宿泊体験メニュー創造事業	地域資源を活用した魅力ある観光コンテンツの磨き上げ、PR経費を支援 (2/3) 【事業実績 (1件)】 米子市1件 500千円	500千円			
魅力ある施設整備事業	古民家等を活用した滞在施設や農林漁業体験プログラム等を有する家主同居型民泊施設の整備 (1/3) 【事業実績 (3件)】 倉吉市2件 259千円、湯梨浜町1件 2,000千円	2,259千円			
合 計					2,759千円
③農林漁業者が進める農泊チャレンジ支援事業					
事業名	助成内容	補助金額			
お試し体験受入	試行的に行う場合に必要なレンタル備品や消耗品等の購入、視察・研修等に要する経費を支援 (1/2) 【事業実績なし】	0千円			
お試しインパウンド受入	外国人観光客を試行的に受け入れる場合に必要な経費を支援 (1/2) 【事業実績なし】	0千円			
合 計					0千円
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
本県における農泊の可能性について周知し、県内での農泊の取組の拡大を図るため、農泊シンポジウムをオンラインで開催した。					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・①については、県内外の農泊事業に取り組む事例等を紹介し、県内での農泊の取組促進に繋がった。 ・②については、古民家を改修した農泊施設での体験メニューの構築や、施設改修により、観光客がゆったりと滞在し、その農泊施設が旅の目的になるような施設整備が県内で進んでいる。 					
エ 課題					
鳥取県内の農泊の活性化や事業者間の交流・連携を促すため、事業者同士の交流の機会を設けたり、先行事例紹介等の情報発信を行っていく必要がある。					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地域のくらしを守る仕組みづくり推進事業	12,571	567			12,004
将来ビジョン	2つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成				
令和新時代創生戦略	II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (3) 支え愛—①絆を活かした中山間地域・まちなか振興 III 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくり—①暮らしやすく元気になるまちづくり				
政策項目	I 安心新時代⑥地域包括ケアや買物支援など高齢者の暮らしやすいふるさとづくり IV 暮らし新時代⑦高校遠隔通学助成創設やビジネス支援など中山間地の活性化				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

地域の安全安心な暮らしを守り、交流人口の拡大による地域の賑わいの創出を推進することによって持続可能な地域の活性化を図るため、中山間地域の集落や地域住民が連携して取り組む「小さな拠点(※)」の形成など、生活を守る機能の仕組みづくりを支援する。

※小さな拠点

人口減少が進む中でも高齢者等が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らし続けられるよう、小学校区など複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、分散している様々な生活サービスや地域活動の場などを連携させ、生活を支える仕組みづくり。

(イ) 事業の実施状況

①鳥取県版小さな拠点づくり促進事業

小さな拠点の形成を進めるために必要な運営経費などの支援を行う。

事業名	助成内容	補助金額
鳥取県版小さな拠点 担い手育成支援	小さな拠点の核となる次世代リーダーの確保・育成に要する経費の支援(1/2) 【事業実績(1件)】 鳥取市1件 1,133千円	1,133千円
合 計		1,133千円

②中山間地域買物支援事業

事業名	助成内容	補助金額
中山間地域買物支援事業		
移動販売車 等導入支援	移動販売車の導入経費を支援(1/2)(更新の場合1/3) 【事業実績(1件)】 湯梨浜町1件 1,015千円	1,015千円
移動販売車 運営費助成	移動販売車の運営費(燃料代、車検費等)を支援(1/2) 【事業実績(1件)】 鳥取市1件 147千円	147千円
買い物福祉 サービス支 援事業	移動販売事業者へ高齢者等の見守りを委託・補助する市町村に対して支援(1/2) 【事業実績(6件)】 鳥取市3件 3,521千円、智頭町1件 113千円、 日野町1件 2,942千円、江府町1件 3,700千円	10,276千円
合 計		11,438千円

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
特になし

ウ 成果及び効果

- ・小さな拠点の形成に係る取組を支援し、県内では令和2年度に新たに8拠点が形成され、計38拠点が形成された。(目標：令和6年度末までに45拠点を形成)
- ・移動販売車が新たに導入(湯梨浜町：1台)されるなど、買い物弱者対策が進んでいる。

工 課 題

中山間地域の生活の安全・安心の確保を図るため、関係市町等と連携を図り、持続可能な「小さな拠点」づくりや買い物支援を更に進めていくことが必要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
空き家対策支援事業	16,415	0	0	0	16,415
将来ビジョン					
令和新时代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (3) 支え愛-①絆を活かした中山間地域・まちなか振興				
政策項目					
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
空き家の老朽化や不適正な管理等による環境悪化等の問題が顕在化していることから、利活用を含めた早期対策を講じるため、空き家の実態調査及び除却等に取り組む市町村を支援するとともに、老朽危険空き家等の所有者等に対し、その除却に係る費用の一部を補助する。					
(イ) 事業の実施状況					
○空き家対策支援事業補助金					
事業名	助成内容				補助金額
空き家等実態調査支援事業	市町村が実施する地域の空き家等の実態調査への支援 (1/2) 【事業実績 (1件)】 (北栄町：929千円) ・北栄町内の空家を効率的に管理するため、空家情報管理システムを構築し、導入する。				929千円
老朽危険空き家等除却支援事業	法令に基づく指導等を受けた老朽危険空き家を除却するための経費を支援 (1/5) 【事業実績 (56件)】 鳥取市8件 1,066千円、米子市10件 2,598.5千円、 倉吉市12件 3,030千円、境港市3件 831千円、 岩美町1件 135千円、八頭町5件 992.5千円、 三朝町4件 600千円、湯梨浜町2件 1,535千円、 琴浦町3件 450千円、北栄町8件 3,999千円				15,237千円
合計					16,166千円
○空き家化抑制推進事業					
高齢者世帯等が居住する居宅が将来空き家とならないよう、所有者自身や家族に対して今後の処置を事前に確認し、意向の明確化や空き家バンク等への事前登録等につなげる取組を地域のまちづくり団体に委託して実施。(249千円)【いんしゅう鹿野まちづくり協議会】					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽危険空き家等除却支援事業について、市町村が略式代執行により行うものについても支援の対象とし、空き家対策に取り組む市町村の支援を図った。 ・空き家化抑制推進事業を創設し、高齢者世帯等が居住する居宅が将来空き家とならないための取組を支援した。 					
ウ 成果及び効果					
県の補助金を活用して、老朽危険空き家の除却支援を実施する市町数並びに除却件数は10市町56件で、前年と比較して1市9件の増加となり、一層の空き家対策の推進が図られた。					
エ 課題					
今後更に増加する空き家の発生を抑制していくため、法令に基づく指導等を受けた老朽危険空き家に至らない、将来危険となると予見される空き家について、未然に行う除却等について財政的な支援を行っていくことが必要である。					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
空き家利活用推進総合支援事業	8,464	3,806	0	432	4,226
将来ビジョン	2つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成 (4) 魅力があふれ人が集い、にぎわいのある中心市街地が形成				
令和新时代創生戦略	3. 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (1) 移住・定住－①「移り住みたい」・「住み続けたい」・「帰りたい」鳥取県 3. 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくり－①暮らしやすく元気になるまちづくり				
政策項目	Vふるさと新时代②空き家利活用モデル事業や米子港エリア整備など街なか・駅前活性化				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
市場では流通しづらい空き家の利活用を進めるため、空き家の利活用に取り組む専門家団体の活動支援に加え、空き家の利活用に必要な改修工事等への助成、空き家を活用するまちづくりへの支援、貴重な文化資源である古民家空き家の活用モデルの研究など空き家の利活用に向けて総合的な施策を講じる。					
(イ) 事業の実施状況					
①空き家利活用団体支援事業					
助成内容					補助金額
宅地建物取引業協会、建築士会、司法書士会、土地家屋調査士会で構成する「とっとり空き家利活用推進協議会」に対し活動経費の一部を支援(2/3) 【取組実績】 ・空き家・空き土地・困りごと無料相談会の開催(東中西1回、来場者計72組) ・空き家利活用シンポジウムの開催(境港市) ・講演会等への専門家の派遣活動(鳥取市、倉吉市(2回)、日野町)					1,600千円
②空き家利活用流通促進事業					
助成内容					補助金額
一般に流通しない空き家の利活用を行うための改修に係る経費を支援(1/3) 【事業実績(16件)】 鳥取市1件 333千円、米子市9件 1,800千円、 若桜町2件 1,382千円、智頭町1件 1,000千円、 北栄町2件 1,200千円、江府町1件 450千円					6,165千円
③地域の空家を活用したまちづくり推進事業					
助成内容					補助金額
まちづくり団体等による地域の空き家の利活用計画の策定等に必要な活動経費を支援(市町村負担額の2/3) 【事業実績(1件)】 ・空き家を専門家が調査し、調査結果を分析しランク分け(智頭町 ちずいえ)					400千円
④空き家リノベーション普及啓発事業					
助成内容					補助金額
不動産事業の専門団体等が行うリノベーション物件の一斉見学会等の開催経費を支援(1/2) 【事業実績(1件)】 ・鳥取市内4棟で見学会を実施(鳥取県宅地建物取引業協会)					299千円

⑤古民家空き家利活用モデル事業（繰越R3.9完了予定）

古民家空き家の利活用に向けた構造安全性の確認・検討、建築基準法への適合が困難なものに対する代替措置の検討等を歴史的建造物の保全に係る専門家である歴史的文化遺産活用推進員に委託して実施。(1,793千円)【モデル空き家 倉吉市河原町 高多家住宅】

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・空き家の流通促進やまちづくり活動支援の制度拡充に加え、空き家リノベーション普及啓発事業の創設等、空き家利活用に向けたより総合的な施策の展開を図った。

ウ 成果及び効果

- ・県の補助金を活用して、空き家利活用流通促進を実施する市町数並びに活用件数は6市町16件で、一層の空き家利活用の推進が図られた。

エ 課題

- ・空き家利活用に関する機運の醸成を図る上では地域団体や市町村の関与が不可欠であり、引き続き地域団体や市町村による取組への支援、連携の強化を行う必要がある。
- ・住宅市場においては新築指向が強く、空き家の市場流通は一般的でないことから、さらなるマッチング体制の強化、並びに空き家利活用の魅力訴求に繋がる取組を行う必要がある。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費国庫補助金	23,763,000	16,967,000	0	40,730,000	29,641,592	29,641,592	0	0	
	土木費国庫補助金	4,500,000	0	0	4,500,000	3,806,000	3,806,000	0	0	
	繰越金	0	0	(1,793,000)	(1,793,000)	(1,793,000)	(1,793,000)	0	0	
	雑入	1,045,000	0	0	1,045,000	684,000	684,000	0	0	
	合 計	29,308,000	16,967,000	1,793,000	48,068,000	35,924,592	35,924,592	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	自治振興費	94,143,000	△ 12,329,000			81,814,000	62,849,025	33,290,952	29,558,073	0	18,964,975	
	建築指導費	30,500,000		(1,793,000)		(1,793,000)	(1,793,000)	(1,793,000)	0	1,800,000	3,820,300	
	合 計	124,643,000	△ 12,329,000	1,793,000	0	114,107,000	89,521,725	59,963,652	29,558,073	1,800,000	22,785,275	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(自治振興費) みんなで取り組む中山間地域計画づくり事業	3,630,000	△2,240,000	0	0	1,390,000	670,425	0	719,575	48%	小さな拠点形成に向けた地域住民との話し合いや住民アンケート、研修会、先進地視察などを支援し、地域づくりの計画検討・実施に繋がった。不用額については、事業実施地区が当初計画よりも少なかったもの。
(主) みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業	24,327,000	△6,078,000	0	0	18,249,000	16,743,134	0	1,505,866	92%	主な事業に関する調べのとおり。
(主) 地域の暮らしを守る仕組みづくり推進事業	24,500,000	△10,970,000	0	0	13,530,000	12,571,000	0	959,000	93%	主な事業に関する調べのとおり。
まちなか暮らし総合支援事業	4,100,000	△4,000,000	0	0	100,000	100,000	0	0	100%	まちなかの高齢者の見守りと住民同士の交流を支援し、地域ぐるみの助け合いの仕組みづくりに繋がっている。
中山間地域振興費	5,738,000	0	0	0	5,738,000	3,571,845	0	2,166,155	62%	中山間地域に係る施策の検討や国や各県、市町村等との連絡調整を行った。不用額については、当初の予定より県外出張等が減少し、予算の執行が少なかったもの。
(主) 新たな中山間地域共創事業	8,000,000	△1,591,000	0	0	6,409,000	6,277,936	0	131,064	98%	主な事業に関する調べのとおり。

(主)農山漁村滞在促進事業	7,356,000	△2,050,000	0	0	5,306,000	4,773,900	0	532,100	90%	主な事業に関する調べのとおり。
とっどりの美しい街なみづくり事業	2,700,000	0	0	0	2,700,000	1,144,000	0	1,556,000	42%	事業実績については、倉吉市3件、境港市3件の住宅等修景に係る経費を支援した。不用額については、市町村の見込み件数に基づき見込んでいたが、年度内に所有者等との調整がつかず、事業実施に至らなかったことによる件数減。
中山間地域なりわい継業促進プロジェクト	1,392,000	0	0	0	1,392,000	805,785	0	586,215	58%	八頭町で座談会を開催し、地域で「継業」という視点を持ち、その方向へ向かっていくためのきっかけづくりができた。不用額については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、都市部からの人材によるお試し滞在の活用がなかったもの。
特定地域づくり事業推進支援事業	12,400,000	△10,400,000	0	0	2,000,000	0	0	2,000,000	0%	令和2年度の事業実施に至る市町はなかった。不用額については、日野町において実施予定であったものが、令和3年度実施に変更となったもの。
鳥取型「新たな生活様式」に即したイベント等開催支援事業	0	25,000,000	0	0	25,000,000	16,191,000	0	8,809,000	64%	新型コロナウイルス感染症予防に配慮した鳥取型「新たな生活様式」に即して県内で開催するイベント40件について支援した。不用額については、すみやかに幅広いイベント等にご活用いただくため、年度途中で予算不足とならないよう準備していたところ、新型コロナウイルス感染症の流行状況やイベント開催に対する制限内容が流動的であったため、主催者が参加告知をしにくいなどの事情により最終的にイベン

										ト開催を見合わせるケースが生じていたこと等によるもの。
目 計	94,143,000	△12,329,000	0	0	81,814,000	62,849,025	0	18,964,975	77%	
(建築指導費)										
(主) 空き家 対策支援事業	20,500,000	0	0	△ 1,341,000	19,159,000	16,415,700	0	2,743,300	86%	主な事業に関する調べのとおり。空き家利活用推進総合支援事業に流用。
(主) 空き家 利活用推進総 合支援事業	10,000,000	0	1,793,000	1,341,000	13,134,000 (1,793,000)	10,257,000 (1,793,000)	1,800,000	1,077,000	75%	主な事業に関する調べのとおり。空き家対策支援事業から流用。
目 計	30,500,000	0	1,793,000	0	30,500,000	26,672,700	1,800,000	3,820,300	82%	
合 計	124,643,000	△12,329,000	0	0	112,314,000	89,521,725	1,800,000	22,785,275	78%	

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科 目	事 業 名	金 額	翌年度繰越額	左の財源内訳		繰 越 理 由
				一般財源		
建築指導費	空き家利活用推進総合支援事業	11,341,000	1,800,000	1,800,000		古民家の活用プランの方針変更に伴い事業内容の精査・調整に不測の日数を要し、年度内の完了が困難になったため。
合 計		11,341,000	1,800,000	1,800,000		

(3) 事故繰越調べ 該当なし

10 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

11 現金の取扱状況 該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし

(3) 基金 該当なし

- (4) 債 権 該当なし

- 1 3 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし

- 1 4 借受不動産明細調べ 該当なし

- 1 5 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

- 1 6 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

- 1 7 備品の処分状況調べ 該当なし

- 1 8 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
 - (1) 亡失、損傷の報告状況
有 ・ 無

 - (2) 物品確認の実施状況
 有 ・ 無

- 1 9 貸付金等状況調べ 該当なし

- 意見、要望等
 - (1) 業務に関する意見・要望等 特になし

 - (2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし